

菌床しいたけ始めました!!



平成25年度から新しい試みとして、菌床椎茸を開始しました。最初に群馬まで菌床を受け取りに行き、学園まで持って来ましたが、まだ専用のハウスが出来ておらず倉庫に置く事になり、熱障害を受けにくい状態になってしまいました。そして菌床ハウスが完成し菌床の棚上げを行い、暫くしてから菌床を覆っている袋を取り除き水かけ・温度管理を毎日行い、四苦八苦しながらも何とか椎茸を発生させる事が出来ました。



順調に椎茸が出て来たことにより、最初は、施設が運営している福祉ショップもみの木にのみ販売をしていましたが、更に多くの方に知ってもらうため、エコプラザ(廃品回収)にてお世話になっている地元のスーパーのT-MARTさんに出荷をさせていただけるようになりました。おかげさまで毎日完売するほどの大盛況です。皆様もぜひ吉沢学園の菌床椎茸をお召し上がりください。

☆大盛況のクリスマス会☆

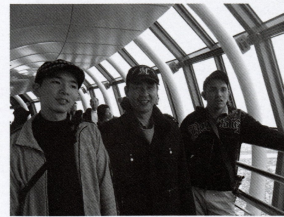


今年の新人余興は「YOSAKOIソーラン」に決定!新人職員の新ステージということもあり、焦りと不安だらけでした。しかし、先輩方のおかげで少しずつ踊れるようになり、クリスマス会本番を迎えることが出来ました。利用者さん、保護者さんの「ソーラン、ソーラン」と言う掛け声と共に今まで練習してきた踊りを思い切り踊れたことにより、心から楽しく踊ることが出来ました。皆様のおかげです。ありがとうございます。



今年も職員有志の発表があり、ダンスに加えて、曲の間にコントを挟み、笑いも交えたパフォーマンスを披露したことにより、アンコールでは、利用者さんも一緒にダンスに参加して、笑顔で楽しむことが出来ました。クリスマス会が終わった後、利用者さんから「楽しかったね」等の声がたくさん聞かれ、その言葉が来年のクリスマス会の職員有志の意欲に繋がりました。

ケアホーム



利用者さんの「東京スカイツリーに行きたい!」との声から今回の外出が実現しました。悪天候の予報があったため

に1日順延してしまい、不安そうな利用者さんもありましたが、当日の展望台から見えた絶景は、延期になった昨日の事を忘れるほどの物でした。



東京スカイツリーでは、昼食・展望・お土産の買い物をしました。中でもお土産の買い物は利用者さんそれぞれがカゴを持ち、自分でお土産を選んでいくことが印象的でした。帰路では、疲れているはずなのに眠る利用者さんは見られず楽しい外出になりました。

こどもステーション牛久



11月30日に東京ドイツ村へ遠足に行ってきました。お天気が心配でしたが、当日は雲一つない真っ青な空で日差しも暖かく、一気に不安が吹き飛びました。そして、外でみんなと食べるお弁当は、格別だったようで、「全部食べたよ!」とからっぽになったお弁当箱を掲げ、満面の笑顔を見せてくれました。お腹いっぱいになった後は、広い芝生の上をコロコロ転がったり走ったり、勢い余って滑ったり転んだり…。深まりゆく季節と芝生の感触を全身で感じてきました。子供たちの感性とはすごいですね。重度の障害を抱え言葉が無くても、心豊かに成長します。そのような子供たちに寄り添い、手助けできるよう見守ってゆきたいと思えます。

ショップ&もみの木ギャラリー

3月21日から5月11日までの間、中房総国際芸術祭いちほらアート×ミックスが開催されています。メイン会場となるのは小湊鉄道線上総牛久駅から養老溪谷駅の間でその中に「ショップ・もみの木」のもみの木ギャラリーがあります。今回、もみの木ギャラリーでは優しい色合いが特徴の藤本幸一さんの作品が展示されています。藤本さんの絵は、どの絵も淡く優しい絵で見る人を優しい気持ちにさせてくれます。ショップ・もみの木で、軽食を摂りながら藤本さんの絵をご覧になってみてください。スタッフ一同心よりお待ちしております。

